

## 熊本競輪事業懇談会について

競輪事務所

## 概要

## 1. 懇談会設置の目的

競輪場再建費用が増加し、予定していた財源では再建費用が賄えない可能性も想定されることから、熊本競輪事業懇談会を設置し、整備に要する経費や財源、収支見込など今後の競輪事業に関して、専門的見地からの意見を聴取する。

## 2. 懇談会の委員構成

学識経験者（建築、経済）、公認会計士、競技関係者など計 8 名

※ 過去の経緯を理解されている前回検討会（H29、30 年度）委員を中心に構成

※ 主に費用面の検討を行うことから、前回構成に財務の専門家である公認会計士を 1 人追加

## 開催状況

## 3. 開催日

令和 2 年 1 1 月 9 日（月） 第 1 回懇談会開催

## 4. 内 容

- ① 全国・熊本の競輪事業の概要、過去の検討会における議論の状況、新型コロナウイルス感染症の影響について事務局より説明を行い、整理すべき論点について意見を伺った。
- ② 各委員から、施設規模や整備手法、整備費用や財源等に関する意見を聴取
- ③ 委員の意見を整理し、必要な資料等を次回懇談会で提示する予定

## その他

## 5. 今後の予定

第 2 回懇談会・・・令和 2 年 1 2 月中に開催（開催日調整中）

## 【参考】第1回競輪事業懇談会の主な発言要旨

### （施設規模・整備手法に関する意見）

- ① 基本計画に基づく整備（400mバンクも含め）前提として進めるのか。
- ② 基本計画では施設規模が地震前より縮小されており、これ以上の見直しは難しいのでは。
- ③ 整備費に含まれる調整池は周辺地区の雨水対策であり、本来、一般財源で作るものでは。
- ④ コロナ禍を踏まえた競輪場の収容者数についても考え方の整理が必要では。
- ⑤ 改修ではなく新築の選択肢もありうるのでは、アスベストの除去費など含め、改めて比較が必要

### （費用・財源に関する意見）

- ⑥ 資金不足を補うため、場外にある選手宿舎を土地ごと売却できないか。
- ⑦ 再建に要する経費が大幅に膨らんだが、今後も増加する可能性はあるのか。
- ⑧ 最近の競輪場再整備では市債を活用した事例が多く見受けられるので、市債の活用を十分検討してほしい。また、市債を発行する場合の課題は。
- ⑨ 前回検討会は財源の一部を残し、廃止する場合に備えるという考え方だった。将来的に競輪場を廃止した場合でも、バンクやスタンドはアマチュア競技のために残す必要があり、その点も含め整理すべき。
- ⑩ 一般会計繰出金の2億については今回もそのままか。整備期間中は繰出しをしないという選択肢もあるのでは。

### （アマチュア振興に関する意見）

- ⑪ 熊本競輪場のバンクが使用できない期間、熊本競輪場で練習している高校生の遠征が多くなるのが懸念される。アマチュア育成の観点から、市が遠征費を負担できないか。